令和6年度 技術科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・多くの活動において概ね意欲的に取り組むことができた。

(2) 課題

- ・より実践的な知識や技能の定着を図る。
- ・個々にあった課題解決の方法を考える能力を身に付けさせる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
工業製品についての材料や加工方法の知識は得られているが、環境や需要との連関を深く理解することをめざしたい。	授業での難解箇所の理解を確実にするため、インターネットも活用して多角的な思考を促していく必要があると考えられる。	学習の成果を課題研究として発表する事には不慣れな段階である。主体的に取り組んだ課題を、伝達し共有できる力をつけさせたい

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
パワーポイントのスライドショーで学習成果の発表の技能を習得させたい。 将来に活用できる能力を身に着けさせたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・電子回路の構成をラジオの製作を通じて体得させる。 ・システムティックな考え方を習得させる授業の展開を図りたい。 	レポートの作成を通じて、体系的にものごとを整理・把握し文章として構成、プレゼンテーションできる能力を身につけさせて行きたい。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活の中にある技術的な知識や内容を把握させ、理解させる。	製作中に適正な判断が自らできるように個別指導をする。	生活に役立つ教材を抽出し興味・関心を高める。